

「日本一元気で魅力あるまちづくり」 を目指して



南城市では、平成 18 年 1 月、「那覇広域都市計画区域」に属する旧佐敷町及び旧大里村、都市計画区域外の旧知念村及び旧玉城村が合併し、平成 21 年 11 月には、新市としてのまちづくりの方向性を明らかにした南城市都市計画マスタープランを策定しました。

当該プランに基づき、平成 22 年 8 月には、那覇広域都市計画区域から離脱し、新たに「南城都市計画区域」を指定するなど、都市計画区域再編が実現されました。これは、「広域から単独へ」「線引き区域から非線引き区域へ」「都市計画区域外から都市計画区域へ」といった、全国的にも前例のない大きな都市計画の変更であり、同時に、新たな制度導入（特定用途制限地域や風致地区等の指定）も図った特徴的なものです。

さて、平成 21 年 11 月に策定した南城市都市計画マスタープランは、喫緊の課題である市の一体的なまちづくりの方向性を定めること、また、そのまちづくりの進捗等に応じて、順次、内容を見直すことを前提としたものです。策定から 5 年目を迎え、市内では、都市計画区域再編に伴って、住宅開発や企業立地が進展し、更には地域高規格道路「南部東道路」の着工や観光振興将来拠点（市中央部）の事業化など、まちづくりを取り巻く状況は大きく変化してきております。

今回の改定版は、こうした状況変化に合わせて、より具体的なまちづくりが進められるよう作成したものです。今後は、当該改定プランに基づき、市民参画へのご理解とご協力のもと、南城市らしい自然・歴史文化遺産・景観との調和を図りつつ、生活や都市活動の場を充実する計画的な土地利用等を進めることによって、市の将来像である「海と緑と光あふれる南城市」並びに「歴史交流田園都市」＋「自立・持続可能都市」の実現を目指していきます。

結びに、改定版の策定にあたり、住民説明会やパブリックコメント等において貴重なご意見やご提言を頂きました市民の皆様をはじめ、専門的な知見からご意見を頂きました南城市都市計画審議会の皆様、並びにご指導ご協力を頂きました沖縄県の関係各位に対し、衷心より厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 10 月

南城市長 古謝景春